

11月3日 るり溪・深山

山下隆

山名	るり溪・深山 792m	山行名	例会
ルート	るり溪遊歩道入口ーるり溪温泉ー深山登山口ー深山ー登山口ーるり溪温泉		
山行日	2022. 11. 3 (木) 文化の日	天候	晴
参加者	リーダー：山下隆 サブリーダー：永江淳子 男性；西川洋、川田、竹原、若林、松島、佐々木、相川 女性：今村、川上、秋山、上田、大林、玉井、伊藤典子、川田、竹原、幾田、森田、多田、高山、 合計：22名		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
松井山手	集	6:50	深山頂上	着	13:00
	発	7:10		発	13:20
溪流歩道入口	着		深山登山口	着	14:20
	発	9:08		発	14:30
深山登山口	着	11:22	るり溪温泉	着	15:05
	発			発	16:15
昼食休憩	着	11:50	松井山手	着	17:20
	発	12:20		発	

幸運にも秋晴れが続く文化の日の 11/3 (木) はさわやかな登山日よりとなる。当初車2台での山行を期待していたが、なんと最終的には22名の大世界となり、車4台で分乗となる。ガスト駐車場に集合し、京都縦貫道を経由し、千代川 IC から一般道へ。1:20 分位かかる。るり溪温泉駐車場に車3台置き、溪谷下に1台置き、るり溪歩道入口に全員集合して出発した。この間、少しモタモタし、計画より約 20 分遅れの出発となる。溪流の右岸の道沿いを歩くも、落ち葉で踏み跡が薄くなり、本来の道は左岸に有ることに気付く。渡渉場所を探し、ようやく渡れそうな場所を見つける。岩は苔で滑りやすく、渡渉に失敗し、二人が腰まで水に浸かる。即 W さんの「フ」が出る。約 4km の溪谷に 12 の名前が付いた滝や岩が続く。名前は難しい漢字が並ぶ。上流に行くに従い黄・紅葉の木々と光る溪谷の景色は一段と魅力を増す。歩道の中間と歩道が終了する通天湖にトイレがあった。通天湖からは舗装道路を 2km 歩くと、右手に深山登山口に着く。この間、左にゴーカート、右にゴルフ場入口。マツコヤの並木やかえでの紅葉に感激する。深山登山口はゴルフ場の一番奥のホールの傍。登山道は標識が沢山あり道迷いの心配はない。ススキー面の深山の頂上と思われたピークは頂上ではなく、頂上はもう少し先の雨量観測点のある電波塔のある所だった。360 度の大展望で、亀岡周辺の山やはるかに愛宕山も望めた。運よく大型の模型飛行機が趣味の親子連れと頂上で出会い、彼らの飛行を一緒に楽しませていただいた。下りでは 曾爾高原に匹敵するススキーやドウダンツツジの紅葉を楽しむ。

るり溪歩道入口に置いた車を車で取りに行き、るり溪温泉駐車場に全員集合後に入浴。車を取りに行く作業がスムーズに進み、午前中の遅れを取り戻すことが出来て、計画より約 40 分はやく 日没前の松井山手に帰ってこられた。車提供者と皆さんのご協力ありがとうございました。ヒヤリハット；ありません。しいていえば 渡渉時での水難か。



## るり溪・深山 感想文

若林憲治

11月3日 紅葉を求めて るり溪・深山 ウォークに参加 私にとってのこの日は記念すべく BD 日である。又、11月3日 4日は雨の記憶がなく過去のデータでも 90%以上晴れ 予測通り快晴の下沢伝いにウォーク開始 今回の目的でもあった。もみじ、曾爾高原並みススキの群生 メダセコイヤ等の紅葉が我々を歓迎してくれた。低山ではあったが、低山なりの楽しみが出来た山行であった。ご参加の皆様お疲れ様でした。

佐々木康治

スタート直後、溪谷のせせらぎに誘われ、渡渉でザブンと水遊びする人が二人。山頂付近では白い穂先のススキの原の歓迎。ここがゴールだとぬか喜びさせる似非ピークを3回ほど越えると791mの頂、眺望抜群、北摂の山なみ、遠くにはペース登山の友「愛宕」も見える。

川田 弘

るり溪から深山までのハイキングに参加しました。るり溪という名はよく聞くのですが、初めて行きました。水の流れがとても綺麗であったことが印象に残りました。深山はこの時期ならではのススキに出迎えてもらいました。頂上では六甲のほうまで見えたようです。天気にも恵まれ、リフレッシュできました。ありがとうございました。

高山京子

るり溪のせせらぎの音を聴きながらの前半は、回りの景色や川の流れを楽しみながら歩くことができました。深山では、ススキがとても印象的でした。最後は温泉でほっこりさせてもらい、とても楽しかったです。ありがとうございました。